

## 「歩こう。佐賀県。」情報発信業務委託企画提案書作成要領

この「企画提案書作成要領」（以下「作成要領」という。）は、佐賀県（以下「県」という。）が実施する「歩こう。佐賀県。」情報発信業務（以下「本業務」という。）に関して、委託事業者を選定するプロポーザルに参加しようとする者（以下「参加者」という。）が企画提案書等を作成するために必要な事項を定めるものである。

### 1 企画提案書

参加者は「業務委託仕様書」（以下「仕様書」という。）を踏まえ、下記の必要書類を作成し、提出するものとする。

なお、提案書はA4サイズ横書きで作成すること。

#### (1) 企画提案にあたっての基本的な考え方

仕様書「2 事業の目的」及び「3 事業の内容」を理解し、企画を提案すること。

#### (2) 企画提案書の作成

(ア) 事業方針

(イ) 事業の内容

※以下のとおりそれぞれの項目に留意して作成すること

#### (1) 事前調査及び分析

事前調査はWEBアンケートとすること

##### 【WEBアンケート詳細】

調査対象	佐賀県内に居住する20代から50代の男女
調査方法	インターネット調査
サンプル数	有効回答400を想定
設問数	15問程度
設問項目	県が提示する必須設問項目を含め、受託者と佐賀県で協議を行い決定する 【必須設問事項】 1 性別（男・女・回答しない） 2 年代（20代～50代：10歳区切り） 3 住所（市町まで） 4 子供の有無 5 普段の主な移動手段（自家用車、徒歩、バスなど） 6 5の利用目的（通勤、通院、買い物など） 7 公共交通機関の利用頻度 8 「歩こう。佐賀県。」を知っているか 9 「歩こう。佐賀県。」をどこで知ったか
調査スケジュール	契約締結から1か月以内に事前調査を実施し、調査結果を速やかに提出する
その他	クロスセクションデータの抽出が可能な調査とする

## (2) 情報発信

### ①行動を促す情報発信の企画と実施

県の事業では「SAGAアリーナのオープン（令和5年5月）」や「佐賀さいこうフェスティバル（令和5年10月）」、「さがバスまるっとフリーDAY（令和6年1月）」等を予定しており、実現可能な範囲でのコラボレーション等は提案可とする。

企画提案書を提出する際には、事前調査から想定される2つ以上のペルソナに対して行動を促す情報発信の企画を提案すること。

#### 【事前アンケートから想定されるペルソナの例①】

A：20代～40代の働き世代で「歩こう。佐賀県。」を認知しているが、通勤には自家用車を利用する人  
B：40代～50代の子育て世代で「歩こう。佐賀県。」を認知しているが、子どもとの移動には自家用車を利用する人  
C：20代の若者世代で「歩こう。佐賀県。」を認知しているが、日常的に自家用車を利用する人 など

### ②認知を向上させる情報発信の企画と実施

企画提案書を提出する際には、事前調査から想定される2つ以上のペルソナに対して認知をより高める情報発信の企画を提案すること。

#### 【事前アンケートから想定されるペルソナの例②】

A：30代の働き世代で「歩こう。佐賀県。」を認知していない人  
B：40代の子育て世代で「歩こう。佐賀県。」を認知していない人  
C：50代の郊外居住者で「歩こう。佐賀県。」を認知していない人 など

#### 【使用できる広報素材（データ等）】

※デザインは別紙1参照

ポスター	チラシ（A4：残部数約6,000枚）
歩こう。佐賀県。PV（DOTAMA：約2分）	テレビCM（歌うアルックさん：15秒）
ラジオ音声広告（WAVデータ：20秒）	新聞データ
歩こう。佐賀県。ロゴ	ショップカード（残部数1,000枚）
SNSアカウント	Instagram (@aruko_saga) Twitter (@aruko_sagaken) Facebook（歩こう。佐賀県。） LINE (@184bvcrv)

### ③WEBサイト、Instagram等の運営

提案された情報発信の企画（コンテンツや発信者等）については、県との協議により決定する。

### ④公共交通の利用を促す広報ツール制作

バス利用での体験談は別紙2のとおり。

## (3) 事後調査

上記（1）事前調査と同様の調査を行い、情報発信の効果検証を行う。

## (4) 広報物やノベルティの制作

県と受託者で協議の上、必要に応じて制作する。

- (ウ) 事業工程
- (エ) 実施体制及び連絡体制
- (オ) 会社概要（様式は任意）
- (カ) 過去に受託した同種の業務実績が確認できる資料（様式は任意）
- (キ) 上記のほか、事業内容が十分に伝わるよう、わかりやすい記載を心がけること。

## 2 見積書

- (1) 本業務の実施に要する費用の内訳（費目、数量、単価、金額等）を明らかにした見積書（様式任意）を作成すること。また、その際、仕様書「3 事業の内容」の項目毎に金額の内訳が分かるように作成すること。仕様書「4 委託金額」の委託上限額を超過しないよう注意すること。
- (2) 見積書には、代表者の役職及び氏名を記載すること。

## 3 企画提案書等の提出部数

- (1) 企画提案書 8 部（正本 1 部、副本 7 部）
- (2) 見積書 8 部（正本 1 部、副本 7 部）

## 4 その他留意事項

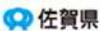
- (1) 提案は、全て企画提案書に記載すること。
- (2) 参加者は、複数の提案を行うことはできないものとする。
- (3) 企画提案書等は、提出後の書換え、引換え、撤回又は再提出を認めない。
- (4) 提案に当たっては、原則として、上記「1 企画提案書」に定める様式によること。
- (5) ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページに印字すること。

ポスター

# 歩こう。佐賀県。

歩くことは健康によい。なんとなくそう思っている、マイカーから早くラクに移動できる。わざわざ歩いて行くなんて思わないですわね。それでも私たちは、みなさんに「歩こう」と呼びかけます。

みなはマイカーで行くところを歩いたり、自転車やバス、電車を利用したり。生活のペースが変われば、新しい出会いや発見がある。人の交流も増え、まちも人も元気になっていく。なくさんの人が「歩こう」と思えるまちをめざして、さまざまな活動をはじめます。




チラシ

# 歩こう。佐賀県。

歩くことは健康によい。なんとなくそう思っている、マイカーから早くラクに移動できる。わざわざ歩いて行くなんて思わないですわね。それでも私たちは、みなさんに「歩こう」と呼びかけます。

みなはマイカーで行くところを歩いたり、自転車やバス、電車を利用したり。生活のペースが変われば、新しい出会いや発見がある。人の交流も増え、まちも人も元気になっていく。なくさんの人が「歩こう」と思えるまちをめざして、さまざまな活動をはじめます。

佐賀はよかとこ、とことこ歩こう

佐賀県公式ウォーキングアプリ  
**SAGATOCO**




ショップカード：表

# 歩こう。佐賀県。

みなはマイカーで行くところを歩いたり、自転車やバス、電車を利用したり。生活のペースが変われば、新しい出会いや発見がある。人も人も元気になっていく。なくさんの人が「歩こう」と思えるまちをめざして、さまざまな活動をはじめます。




SIZE：91×55mm

2019.11.14

ショップカード：裏

佐賀県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」配信中!

毎朝通勤・通学に活用 (ウォーキング、自転車、バス、電車を記録し、歩いた距離や消費カロリーを記録するウォーキングアプリです。専用ポイントを獲得して、毎月SAGATOCO抽選会に参加できます。)




歩こう。佐賀県。PV

# 歩こう。佐賀県。



テレビCM企画「歩」マークのアルックさん

【歩こう、佐賀県。】テレビCM企画11月18～19日【歩こう、佐賀県】放送予定

【企画概要】  
「歩こう、佐賀県。」テレビCM企画の「歩」マークが歩くと動きを始める。アニメーションCM

歩こう。歌うアルックさん

【歩こう、佐賀県。】テレビCM企画11月18～19日【歩こう、佐賀県】放送予定

【企画概要】  
「歩こう、佐賀県。」テレビCM企画の「歩」マークが歩くと動きを始める。アニメーションCM

新聞

# 歩こう。佐賀県。

歩くことは健康によい。なんとなくそう思っている、マイカーから早くラクに移動できる。わざわざ歩いて行くなんて思わないですわね。それでも私たちは、みなさんに「歩こう」と呼びかけます。

みなはマイカーで行くところを歩いたり、自転車やバス、電車を利用したり。生活のペースが変われば、新しい出会いや発見がある。人の交流も増え、まちも人も元気になっていく。なくさんの人が「歩こう」と思えるまちをめざして、さまざまな活動をはじめます。

佐賀はよかとこ、とことこ歩こう

佐賀県公式ウォーキングアプリ  
**SAGATOCO**




歩こう。佐賀県。ロゴ



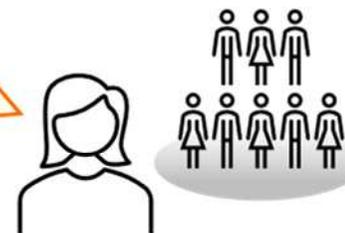

# 「さがバスまるっとフリーDAY」エピソードの一例

別紙2



小3の息子が習い事にバスで通う練習を開始。フリーDAYで、乗客が多く不安な息子にバスの中で、ICカードの使い方などを優しく乗客の男性が教えてくれた。県民のあたたかさに触れることができる体験になった。

園児複数人と保育士さんが、保育園から佐賀駅までの路線バス遠足をしていた。車中の園児たちは楽しそうに、でも座席を立つことなく過ごしていた。話しかけた際、園児はハキハキと答えていた。たまにはバスで出かけようと思った。



初めての妊娠で、地元も遠く、単身赴任の夫も近くにいない。1人での運転も不安…。フリーDAYを機会に街中に出かけ、おいしいごはんやデザートでリフレッシュできた。思っていたよりも運行本数が多く、バスは便利と気づいた。マタニティマークを見て、心優しい方が座席を譲ってくれて、ありがたいと思った。

フリーDAYを利用した温泉バスツアーを、地域の高齢者を対象に企画。「送迎バスで行くことはあったが、路線バスで行くのもいい」、「また行きたい」といった参加者からの楽しい言葉が聞けた。次回は、企画段階からみんなで決めていきたい。

